

地球温暖化対策実行計画の共同策定

熊本連携中枢都市圏で

2050年の温室効果ガス排出

100%削減＝実質ゼロを目指し、
共同で策定を進めます。

全国初



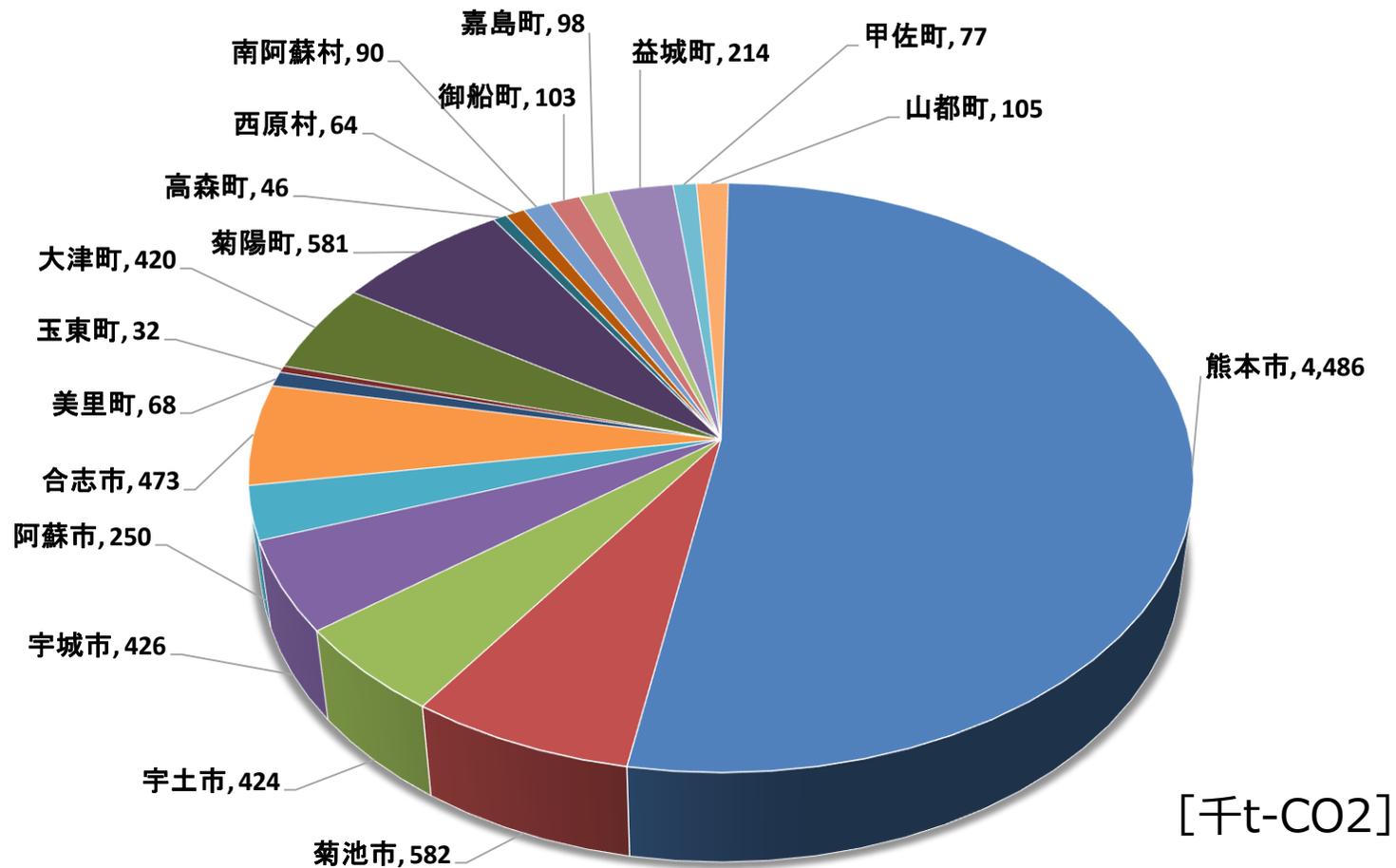
＜温室効果ガスの削減目標＞（案）
中期目標（2030年度）30%以上の削減
長期目標（2050年度）**100%の削減**

「2050年熊本県内CO2排出実質ゼロ」宣言

熊本連携中枢都市圏における温室効果ガス排出量

18市町村の温室効果ガス排出量は、約854万トン。(2015年度)

※株式会社日本総合研究所調べ及び環境省CO₂排出量現況推計より



地球温暖化対策実行計画の基本方針・重点ビジョン

○計画の基本方針

1. 圏域の住民、事業者、行政の各々の立場による省エネ・創エネ・蓄エネ施策推進
2. 脱炭素化した都市圏に必要な都市機能、生活関連機能、産業機能を圏域として協力して整備
3. 圏域での再生可能エネルギー利用の最大化とエネルギーの運用・管理
4. 圏域の各市町村による独自の「脱炭素×災害対策」の実践及び圏域単位での連携
5. 環境投資による圏域経済の持続的成長の達成とクオリティ・オブ・ライフの向上

施策全体を牽引するエネルギービジョン

脱炭素化に資するエネルギー施策を重点的に実施。長期的には、イノベーションを通じたエネルギーやライフスタイルの転換など、社会システム全体の変革も必要。

